

令和6年度 第3回広島県教科用図書選定審議会 議事録

1 開催日時 令和6年8月2日（金）13：00～16：30

2 開催場所 県庁自治会館1階 101会議室

3 出席者 19名

4 欠席者 1名

5 内 容

事務局	（本会議の進行及び資料について説明） この選定審議会の傍聴及び議事録の公開については、第1回選定審議会の際に、第3回は非公開とし議事録のみ公開することを確認済みである。
会 長	それでは議事に入る。 まず、令和7年度に県立中学校で使用する教科用図書の選定状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局 （義務教育指導課担当者）	まず、配付資料について説明する。 資料1「令和7年度に県立中学校で使用する中学校用教科用図書の選定について」は、県立の三つの中学校の教科用図書の選定に係る考え方を示したものである。上段には、県立の三つの中学校の教育目標や、育てたい生徒像等を示している。中段には、県教育委員会が作成した選定資料における観点1から観点5までの五つの共通する観点、それに加えて県立中学校では、「観点6」として「学校の特色を生かす工夫」を設け、学校の教育目標等に基づいて、各学校が独自に調査研究のための視点を設定している。 調査に当たっては、三校合同調査員会を設け、調査研究を行った。また、教科書の選定については、三校とも校内に選定会議を設置し、各教科で行った調査研究の結果を踏まえ、総合的に判断している。 資料2は、三校の選定結果の一覧である。三校の選定結果が異なる種目は、国語、理科、美術、保健体育、英語の五種目で、他の種目では三校とも同じ発行者の教科用図書を選定している。 資料3は、教科用図書の選定理由である。選定した教科用図書について、その特徴と選定に至った理由をまとめている。 資料4は、調査項目設定の理由である。各調査項目は、学習指導要領や各校の教育目標等に基づいて設定しており、なぜそのような調査を行う必要があったのか、調査項目設定の理由をまとめている。 資料5は、種目別の評価表である。観点や視点ごとに学習指導要領に基づいた評価基準を設定し、調査研究による評価をA B Cの3段階で示している。最後に、発行者別にA、B、Cの集計結果を記載し、A評価が一番多かった発行者を選定している。なお、A評価が同数の場合は、「観点6学校の特色を生かす工夫」の評価が高い方を選定している。 本日は資料5を基に、国語から順に各学校の選定状況について説明する。なお、説明に当たっては、各校の独自の観点である観点6の中から一つ、または、共通観点である観点1～5の中から一つ視点を取り上げ、調査で明らかになった選定した教科用図書の特徴についてスクリーンを使い

各教科 担当者	ながら示す。説明は4種目ずつに分けて行う。 「国語」について説明する。 広島中学校、三次中学校では「光村」、広島叡智学園中学校では「三省堂」を選定している。 観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑧を御覧いただきたい。科学的・論理的な思考力、的確な判断力の育成を目標とし、論理的に物事を捉え、考えを深める学習を重視することから、科学的・論理的な思考力、的確な判断力の育成を促す単元があるか、加えて、科学的・論理的な思考力、的確な判断力の育成を促すための資料と他領域教材を関連付けているかについて調査した。「光村」では、科学的・論理的な思考力、的確な判断力を促す資料である「モアイは語る―地球の未来」「思考のレッスン1 根拠の吟味」と、他領域教材である「適切な根拠を選んで書こう」を関連させて掲載している。次点となった「三省堂」では、他領域教材と関連させて掲載していないため、「光村」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の視点⑩を御覧いただきたい。社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するため、国際的な内容を取り扱った読み物教材が掲載されているか、加えて、異なる価値観について触れる教材があるかを調査した。「三省堂」は、国際的な内容を扱う読み物教材に加え、「間の文化」という、日本における「間」について日本と西洋や中国との相反する考え方を取り上げた教材を掲載しており、異なる文化・価値観を知ることができる。次点となった「光村」では、国際的な内容を扱う読み物教材は載っているものの、日本と他国の相反する考えについての教材は見られないため、「三省堂」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の視点⑩を御覧いただきたい。伝統を重んじ、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるために、人類の発展等に尽くした人物を具体的に取り上げた教材がどの学年に掲載されているかについて調査した。「光村」には、第1学年「はやぶさ2最強ミッションの真実」、第2学年「六千回のトライの先に」、第3学年「天、共に在り」と、全ての学年で人類の発展に尽くした人物の教材を掲載している。次点となった「三省堂」では、第1学年「フロン規制の物語」のみの掲載となっているため、「光村」が優れていると判断し、選定した。 「書写」について説明する。 書写は、三校とも「東書」を選定している。 観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑨を御覧いただきたい。豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度の育成を目指し、日本や他国の文字文化に触れることを重視することから、日本や他国の文字文化や、その文字文化と現代との繋がりを示す教材について調査した。「東書」では、日本や他国の実際の書や絵巻物を掲載し、「現代につながる文字の役割」や「今に生きる書」など、現代との繋がりを示す教材が掲載されている。次点となった「教出」では、日本や他国の文字文化の変遷については示されているが、現代との繋がりについては示していないため、「東書」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の視点⑨を御覧いただきたい。創造的・批判的思考力の育成を目指しているため、よりよい文字の書き手として、創造的・批判的に文字を書いたり、文字と関わったりする視点について調査した。「東書」では、自分の思いを効果的に文字で表現したり書き文字の修正点について考えたりする教材を掲載し、「自分のノートを見直す」において、ノートの効果的な書き方について考え、自身のノートを見直す活動を設け、自らの文字の書き方や文字との関わり
------------	---

について振り返ることができる。次点となった「教出」では、書体を工夫したり、書き文字の修正点について考えたりする教材は掲載されているものの、自らの文字の書き方や文字との関わりについて振り返るような活動は示されていないため、「東書」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の視点⑩を御覧いただきたい。伝統を重んじながら今後の発展に貢献しようとする意識を高めるために、文字の歴史を学ぶとともに、社会生活を営む上で必要な礼状等に必要な文例を手書きで示す教材について調査した。「東書」では、日本の文字の変遷や手書きの文字の特徴を学ぶ教材だけでなく、手書きで示された礼状や時候の挨拶等の文例とともに、季節の感じ方に合わせて生徒が言葉を選択できるよう多様な文例も掲載されており、文字を手で書くという伝統を重んじ、今後に生かそうとする意識を高めることができる。次点となった「教出」では、日本の文字の変遷や手書きの文字の特徴を学ぶ教材は掲載されているものの、時候の挨拶の文例は活字のみで示され、例も「東書」ほど多くないため、「東書」が優れていると判断し、選定した。

「社会（地理的分野）」について説明する。

社会（地理的分野）は、三校とも「日文」を選定している。

観点6、学校の特色を生かす工夫について、各県立中学校が設定している視点⑧～⑩の評価が、選定した発行者と次点の発行者いずれも、全て評価がAとなっているため、ここでは三校共通の観点である観点1～5の中から評価に差が見られた観点を二つ取り上げて説明する。観点3の視点⑤を御覧いただきたい。学習指導要領においては、主体的な学びを実現するために、学習内容・活動に応じた振り返りの場を設定し、児童生徒の表現を促すことが求められているため、「単元の終末における工夫」について、「振り返りを充実させるための手立て」を調査項目とし、「日本の諸地域」の単元における振り返りの設定について調査した。「日文」では、小單元ごとの振り返りが設定されていることに加え、「学習を始める前と比べて、考えが変わったこと」等を振り返る欄があり、自身の学びや変容を自覚できる場面が設定されている。「東書」では、小單元ごとに振り返りが設定されているものの、自身の学びや変容を自覚したり、次の單元への見通しをもたせたりする場面は設定されていないため、「日文」が優れていると判断した。次に、観点4の視点⑥を御覧いただきたい。学習指導要領においては、観察や野外調査、文献調査などの実施方法を学んだり、地域の将来像を構想したりすることが求められているため、「単元や資料等の配列・分量」について、「「地域調査の手法」「地域の在り方」の分量」を調査項目とし、総ページ数に対する「地域調査の手法」と「地域の在り方」のページ数の割合について調査した。「日文」では、総ページ数に対し、「地域調査の手法」「地域の在り方」のページ数の割合が四つの発行者全ての平均以上である。「帝国」では、総ページ数に対する割合が平均未満であったため、「日文」が優れていると判断し、選定した。

「社会（歴史的分野）」について説明する。

社会（歴史的分野）は、三校とも「東書」を選定している。

観点6、学校の特色を生かす工夫について、各県立中学校が設定している視点⑧～⑩の評価が、選定した発行者と次点の発行者いずれも、全て評価がAとなっているため、ここでは三校共通の観点である観点1～5の中から評価に差が見られた観点を一つ取り上げて説明する。観点4の視点⑥を御覧いただきたい。現行の学習指導要領では、我が国の歴史の大きな流れを理解するために、世界の歴史の扱いを充実させることが大切にされているため、視点を「単元や資料等の配列・分量」と設定し、「各時代区別のページ数」を調査項目とし、原始・古代から近世までのページ数に対

会 長	する世界の歴史のページ数の割合について調査した。「東書」は、原始・古代～近世までのページ数に対し、世界の歴史のページ数の割合が九つの発行者全ての平均以上あるが、次点となった「日文」は、原始・古代～近世までのページ数に対し、世界の歴史のページ数の割合が平均未満であったため、「東書」が優れていると判断し、選定した。
	それではここで、説明があった4種目の選定状況について実際に教科書の見本を見ながら各学校の教育目標等を踏まえ、最も適した教科書が選定されているかについて、意見交流をしていただく時間を取る。その後、さらに4種目の選定資料について説明を受け、再度意見交流をし、その後、2回の意見交流で出た御意見等をまとめて、グループごとに御発表いただく。 （委員による教科書閲覧、意見交流後）それでは、資料5の説明の続きをお願いする。
各 教 科 担 当 者	「社会（公民的分野）」について説明する。 社会（公民的分野）は、三校とも「東書」を選定している。 観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の観点6の視点⑧～⑩を御覧いただきたい。観点6について、選定した「東書」と次点の「日文」は、全て評価がAとなっているため、評価に差が見られた観点4の視点⑥について説明する。中学校社会科では、学習指導要領において、グローバル化する国際社会に主体的に生きるための力を育成することが求められている。ここでは、「単元や資料等の配列・分量」について、「私たちと国際社会の諸課題」のページ数を調査項目とし、そのページ数の割合を調査した。「東書」は、総ページ数に対し、六つの発行者全ての平均以上あるが、次点となった「日文」は、総ページ数に対し、平均未満であったため、「東書」が優れていると判断し、「東書」を採択した。次に、広島叡智学園中学校の観点6の視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫について、文化の多様性に関する資料を調査項目とし、「世界平和と人類の福祉の増大」という単元で、文化の多様性の理解を深めさせたいという理由から、多文化に関するコラムや読み物資料がどのように掲載されているかを調査した。「東書」では、「文化の多様性について考えよう」のようなコラムや読み物資料を複数掲載している。次点となった「日文」においては、一つしか掲載されていないため、「東書」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の観点6の視点⑧～⑩を御覧いただきたい。広島中学校と同様に、選定した「東書」と次点の「日文」は、学校の特色を生かす工夫においては、全て評価がAとなっているため、評価に差が見られたのは観点4の視点⑥であった。広島中学校と同様に「東書」は、総ページ数に対し、六つの発行者全ての平均以上あるが、次点となった「日文」は、総ページ数に対し、平均未満であったため、「東書」が優れていると判断し、選定した。 「地図」について説明する。 地図は、三校とも「帝国」を選定している。 観点6、学校の特色を生かす工夫について、各県立中学校が設定している視点⑧～⑩の評価が、選定した発行者と次点の発行者いずれも、全て評価がAとなっているため、ここでは三校共通の観点である観点1～5の中から評価に差が見られた観点を二つ取り上げて説明する。観点3の視点④を御覧いただきたい。社会科において、学習する内容について主体的に調べ分かろうとして課題を意欲的に解決しようとする態度を育成することが

求められているため、視点を「主体的に情報収集をするための工夫」と設定し、「地図帳の使い方の示し方」について調査しました。「帝国」では、冒頭部の「この地図帳の使い方」において、一般図、主題図に加え、地形などを立体的に表した「鳥瞰図」の説明とともに具体例が示されている。次点の「東書」では、冒頭部で、一般図や主題図について説明とともに具体例が示されているが、鳥瞰図についての説明がない。「鳥瞰図についての説明と具体例」があるという点で「帝国」が優れていると判断した。続いて、観点3の視点⑤を御覧いただきたい。社会科において、子供達に興味・関心をもたせるためには、社会の動きと身近な生活がつながっていることが実感できるようにすることが求められているため、視点を「生活経験と学習を結び付けるための工夫」と設定し、世界の各州と日本を結びつけるための工夫について調査した。「帝国」では、例えば、アジア州のページの中に「東アジアと日本の交流の歴史」において、日本と東アジアとの結び付きが示されており、左下には、日本との結び付きのマークが示されている。「帝国」ではアジア州だけでなく、世界の全ての州で、日本との関連に着目させるマークやコーナーがある。次点の「東書」では、一部の州で日本との関連に着目させるコーナーがあるものの、全ての州のページにはない。全ての州で日本との関連に着目させるコーナーやマークがあるという点で「帝国」が優れていると判断した。全ての県立中学校において、その他の観点1～5や観点6についても検討した結果、「帝国」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「数学」について説明する。

数学は、三校とも「学図」を選定している。

観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。まず、広島中学校と三次中学校において、共通した調査項目で調査し、その上で評価に差がついた項目があるので、その項目を取り上げ、説明する。広島中学校の観点6の視点⑨を御覧いただきたい。広島中学校では、豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てることを重視しており、数学が社会に貢献してきたことを学習することが必要であるということから、「数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題や問題の記載例」について調査した。また、三次中学校の観点6の視点⑨を御覧いただきたい。三次中学校では、人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるために、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題に関心をもち、社会貢献への意欲につながる話題や問題が記載されていることが必要であるということから、先ほどの広島中学校の調査項目と同様、「数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題や問題の記載例」について調査した。「学図」では、ドイツの数学者ガウスの少年時代のエピソードとともに、自然数の和の計算方法を考えさせる問題など、著名な数学者に関する話題や、生徒に考えさせる問題が、各学年に複数ある。次点となった「東書」においては、数学に関する話題は各学年にあるものの、考えさせる問題が各学年に複数ないため、「学図」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の観点6の視点⑧を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、知識・技能のより深い理解を促すことを重視しており、基礎的・基本的な知識・技能を活用する発展的な問題、とりわけ実生活の文脈に即した問題が充実していることが必要であるということから、「基礎的・基本的な知識及び技能を活用する問題の取扱い」について調査した。「学図」では、地震が起きたときの震源までの距離を、比例の考え方を使って求める問題が示されているように、単元末に「深めよう」というページが全ての単元で設けられ、基礎的・基本的な知識・技能を活用する、日常の文脈に即した発展的な問題が掲載されてい

	る。次点となった「東書」においては、巻末の「数学の自由研究」などには、日常の文脈に即した発展的な問題が掲載されているものの、全ての単元には掲載されていないため、「学図」が優れていると判断し、選定した。 「理科」について説明する。 広島中学校、三次中学校では「啓林館」、広島叡智学園中学校では「東書」を選定している。観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑨を御覧いただきたい。広島中学校では、豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫について、自然環境の保全や環境問題について考える態度を育てる内容の設定を調査項目とし、SDGsについてどのように記載されているか調査した。「啓林館」では、各学年において、「SDGs 目標達成への取り組み」として、SDGsについて紹介するとともに、項目を挙げてそれと関連した日本の各地の取組について記載されている。次点となった「東書」においては、SDGsについて紹介されているが、SDGsの項目と関連させたものとはなっていないため、「啓林館」が優れている。次に、広島叡智学園中学校の視点⑧を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、知識・技能のより深い理解を促すための工夫について、既習事項と結びつける工夫を調査項目とし、その記述がどの程度記載されているかを調査した。「東書」では、全ての単元の導入部や関連する内容の近くに「これまでに学んだこと」という枠組みを設定し、学習内容についての理解を深めることができるようになっている。次点となった「啓林館」においては、章の導入部や関連する内容の近くに、「つながる学び」という枠組みを設定しているが、それらが他の発行者と比較しても少ないため、「東書」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の視点⑧を御覧いただきたい。三次中学校では、知性、探究心、創造性を育むための工夫について、科学的な探究を行うための観察、実験の設定を調査項目とし、それがどのように記載されているか調査した。「啓林館」では、全ての単元で観察、実験を行った際の考察の仕方やポイントが記載されている。加えて、全ての領域において、科学的な探究の過程に沿った観察、実験の具体例が単元末に記載されている。次点となった「東書」においては、全ての単元で観察、実験を行った際の考察の仕方やポイントが記載されているが、単元末に科学的な探究の過程に沿った観察、実験の例は記載されていないため、「啓林館」が優れていると判断し、選定した。
会 長	それではここで、説明があった4種目の選定状況について実際に教科書の見本を見ながら各学校の教育目標等を踏まえ、最も適した教科書が選定されているかについて、意見交流をしていただく時間を取る。その後、8種目の選定状況について、意見交流で出た御意見等をまとめて、グループごとに御発表いただく。 (委員による教科書閲覧、意見交流後) グループで出た御意見、御質問を順番に御発表いただきたい。
委 員	書写について、「礼状の書き方」は、「光村」「東書」は詳しく掲載されている。歴史においても、知識を覚えればよいというわけではなく、日本と世界のつながりが見えるようになっている。数学において、「学図」は各単元で、基本問題、応用問題、活用問題、そして深まりというところで最後に必ず、生活と結び付けた問題を提示しており、全ての学びが生活とつながっていることを大切にした教科書になっている。

委 員	実生活とのつながりを意識した教科書が多い。「書写」の中では、普段自分たちが使うノートとのつながりの中で学んだり、「理科」では、SDGs とつながっていたり、「数学」においては、実生活とつなげるような記載があり、生徒が興味をもって学べるような工夫が見られる。
委 員	国語では、各者で読み物資料が異なっており、特徴が表れていて、各学校に合わせた教科書が選定されていることがわかった。評価表のAの合計数について、選定した発行者と次点の発行者の差が観点4の内容の構成・配列・分量でついている教科書がある。ページ数が多いのか少ないのかで決まるのはもったいないと感じる。
委 員	観点6は、教育目標から視点が設定され、評価基準が定められている。評価基準も客観的なものになっており、公正公平な調査になっている。このような調査を通して、グローバル人材を育てることや、社会の在り方を考えさせることにつながる教科書が選定されているのではないかと考える。
会 長	委員の中から、結果的にページ数で選定を決めるのはもったいないとの意見があった。このことについて、事務局からの説明を求める。
事 務 局	社会科のうち、歴史的分野においては、調査項目とした世界の歴史との関わりが学習指導要領の改訂の趣旨にも示されており、重要視されている。また、公民的分野においては、調査項目とした「私たちと国際社会の諸課題」の中には「よりよい社会に向けて」という、これまで学習した地理的分野や歴史的分野の見方・考え方を活用する、社会科の集大成の単元も含まれている。この単元は、学習指導要領上も重要視されており、取り扱うページ数も質と併せて重要であると考えており、問題ないと捉えている。
会 長	それでは、資料5の説明の続きをお願いします。
各 教 科 担 当 者	「音楽（一般）」について説明する。 音楽（一般）は、三校とも「教芸」を選定している。 観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑧を御覧いただきたい。広島中学校では、科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てるための工夫について、創作分野における学習展開の工夫を調査項目とし、創作を扱った題材において、創作表現を創意工夫することを促す活動内容が具体的な視点とともに示されているかを調査した。「教芸」では、創意工夫を促す活動内容の中に、キャラクターの吹き出しの中で、「蛙が池に飛び込んだ音が聞こえるくらい静かな場面を表すために、音の動きを少なくしてみようかな」といったように、創作表現を創意工夫している具体例が示されている。一方、「教出」では、創意工夫することを促す活動内容が示されていることに留まっているため、「教芸」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の視点⑧を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、知識・技能のより深い理解を促すための工夫について、歌唱法についての知識・技能の習得を図るための記述を調査項目とし、歌唱法について、身体の使い方を習得するための記述に加え、歌唱表現する具体的な場面があるかを調査した。「教芸」では、第1学年では「自分の歌声を見つけよう」と題し、身体の使い方を習得するための記述が示されている。第2・3学年上では、「自分の思いに歌声をのせよう」と題し、身体の使い方を習得するための記述に加え、歌唱表現する具体的な場面が示されている。一方、「教出」で

は、身体の使い方を習得するための記述に留まっているため、「教芸」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫について、鑑賞における諸外国の音楽文化の扱いを調査項目とし、諸外国の音楽文化と我が国の音楽との関わりについての記述や資料が掲載されているかを調査した。「教芸」では、第1学年、第2・3学年上及び第2・3学年下の全ての教科書で、我が国の音楽と諸外国の音楽を聴き比べる活動を含む教材が掲載されている。一方、「教出」では、同様の活動を含む教材は掲載されているが、第2・3学年上には掲載がないため、「教芸」が優れていると判断し、選定した。

「音楽（器楽）」について説明する。

音楽（器楽）は、三校とも「教芸」を選定している。

観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑧～⑩を御覧いただきたい。学校の特色を生かす工夫においては、「教芸」と「教出」の両者ともに全ての評価がAとなっているため、評価に差が見られた観点3について説明する。観点3の視点④を御覧いただきたい。ここでは、言語活動の工夫について、器楽における音楽科の特質に応じた言語活動の工夫を調査項目とし、他者と合わせて演奏する技能を育成する場面において、発言の具体例が示され、他者との交流を促す工夫が掲載されているかを調査した。「教芸」では、「①の主旋律は、のびやかに歌い上げるような感じだね。」や「1回目と2回目で楽器や音の高さを変えて、響きを変化させてもいいね。」といったように発言の具体例が示され、「4人以上のグループになり、それぞれのパートに合う楽器を選びましょう。」といったように他者との交流を促す工夫が掲載されている。一方、「教出」では、発言の具体例は示されていないため、「教芸」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の観点6の視点⑨を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、創造的・批判的思考力を育成するための工夫について、器楽と創作の関連を図った題材において創作表現を工夫するための記載を調査項目とし、器楽と創作の関連を図った題材が示され、創意工夫するための具体的な視点とともに活動内容が記載されているかを調査した。「教芸」では、三つの活動内容が記載されているとともに、創意工夫するための視点として、音楽を形づくっている要素である「リズム」「旋律」「構成」が示されている。一方、「教出」では、三つの活動内容を記載することに留まっているため、「教芸」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の観点6の視点⑧を御覧いただきたい。三次中学校では、知性、探究心、創造性を育むための工夫について、器楽合奏における学習展開の記載を調査項目とし、器楽合奏の楽譜資料において学習が具体的に示されているかを調査した。「教芸」では、創意工夫する過程において「アの部分では、ⅡのパートがⅠのパートを同じリズムで追いかけているね」「エの部分では、前半と後半の2小節で、ⅠとⅡのパートのリズムが入れ替わっているね」といったように曲の特徴を踏まえて創意工夫する学習活動が具体的に示されている。一方、「教出」では、演奏のポイントとして技能のアドバイスや活動の指示に留まっているため、「教芸」が優れていると判断し、選定した。

「美術」について説明する。

広島中学校、広島叡智学園中学校では「光村」、三次中学校では「開隆堂」を選定している。

観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、高い目的意識をもつ

て自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるための工夫について、「共通事項」を踏まえ、美術が環境に果たす役割を理解する学習の目的に合わせて自ら調べるための資料、コラム等の掲載を調査項目とし、心豊かな環境を考えさせる内容について、環境に果たす美術の役割を考えさせる内容及び他教科との関連が示された資料やコラム等が掲載されているかを調査した。「光村」では、第2・3学年「みんなのためのデザイン」の題材において、「ユニバーサルデザインの7原則」というコラムを設け、環境に果たす美術の役割を考えさせるとともに、ページ下に道徳科とのつながりも記載されており、他教科との関連を意識させる構成となっている。次点となった「開隆堂」においては、コラムを設けているものの、コラムに他教科との関連が示されていないため、「光村」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の視点⑨を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、創造的・批判的思考力を育成するための工夫について、教科等横断的な視点に立った題材の示し方を調査項目とし、題材に他教科と関連のある作品等が掲載され、学びの活用をどのように促しているかについて調査した。「光村」では、第1学年「数学科とのつながり「エッシャーの敷き詰め模様」」のように、他教科との関連が見えるコラムが掲載され、他の教科の学習と結び付けることで、美術科の枠を超えた見方や考え方を伸ばすことができるようになっている。次点となった「開隆堂」においては、他教科等とのつながりを意識した題材はあるが、どの教科とつながっているかについて、紙面上に明記されていないため、「光村」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の視点⑨を御覧いただきたい。三次中学校では、人間の多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるための工夫について、諸外国の美術や文化との相違や共通性に関する示し方を調査項目とし、諸外国の美術や文化を比較できる図版や記述がどの程度掲載されているかを調査した。「開隆堂」では、第2・3学年「人間らしさを求めて」において、「異なる時代の「最後の晩餐」を比較し、表現の変化を基に鑑賞しよう」と、同じテーマで描かれた作品を並べて提示し、諸外国の美術や文化を比較することができるよう記述で促している。次点となった「光村」においては、国や時代が異なる作品が並べて提示してあるページはあるが、直接的に比較を促す記述がなされていないため、「開隆堂」が優れていると判断し、選定した。

「保健体育」について説明する。

広島中学校、三次中学校では「学研」、広島叡智学園中学校では「東書」を選定している。

観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑧～⑩を御覧いただきたい。選定した「学研」と次点の「大日本」は、学校の特色を生かす工夫においては、全て評価がAとなっているため、評価に差が見られた観点4について説明する。観点4の視点⑥を御覧いただきたい。ここでは、単元・題材や資料等の配列について、学習の系統性及び各単元の学習に対して見通しをもたせるための工夫を調査項目とし、章扉において、小学校、高等学校との系統性等の掲載状況について調査した。「学研」では、全ての単元の章扉において、小学校、高等学校との系統性に加え、単元の学習内容に関するコラム等が掲載されている。次点となった「大日本」においては、小学校、高等学校との系統性は示されているものの、コラム等の掲載はないため、「学研」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫について、スポーツを支える役割や場面の取扱い数を調査項目とし、スポーツを支える役割や場面に関する掲載数について調査した。「東書」では、車いすエ

	ンジニアの紹介やボランティアとして選手を支える活動をしている人々の画像などが17箇所掲載されている。次点となった「学研」においても、サッカーの女性審判員の紹介や仲間の練習を支え合う場面の画像などが掲載されているものの、掲載数は12箇所、「東書」の方が多くの取扱いがあるため、「東書」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫について、運動やスポーツ、健康医学等の発展に寄与した人物の取扱いを調査項目とし、それらの人物の取扱い数について調査した。「学研」では、がんの治療に関する研究でノーベル賞を受賞した本庶佑氏の紹介や医療ソーシャルワーカーの藤賀美枝子氏へのインタビューなど、16人の掲載がある。次点となった「大日本」においては、メジャーリーグで活躍する大谷翔平氏の紹介や近代オリンピックの基礎を築いたピエール・ド・クーベルタン氏の紹介などが掲載されているものの、取扱い数は13人で、「学研」の方が多くの取扱いがあるため、「学研」が優れていると判断し、選定した。
会 長	それではここで、説明があった4種目の選定状況について実際に教科書の見本を見ながら各学校の教育目標等を踏まえ、最も適した教科書が選定されているかについて、意見交流をしていただく時間を取る。 （委員による教科書閲覧、意見交流後）それでは、資料5の説明の続きをお願いします。
各 教 科 担 当 者	「技術・家庭（技術分野）」について説明する。 技術・家庭（技術分野）は、三校とも「東書」を選定している。 観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てるために、学習の内容を深めたり広げたりするための資料や問いがあるかを調査した。「東書」では、学習のまとめのページにおいて「これまで学習した材料と加工の技術を生かして、持続可能な社会の構築のために、今後どのような問題解決をしていきたいですか。」と問いを投げかけている。次点となった「開隆堂」においては、「社会の発展という視点で次の文章の下線部にあなたの考えを書きなさい。」と、問いではなく指示文になっており、かつ、決められた定型文の空欄に記述させている。よって、学習の内容を深めたり広げたりするためという視点で二つの教科書を比べれば「東書」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するために、デザインの革新が、私たちの生活に及ぼす影響について考えさせる資料や問いがあるかを調査した。ここで言うデザインとは、見た目のみのことではなく設計や構想という意味も含めたものとして捉えていただきたい。「東書」では、まず、最初のページで「持続可能な社会のために、情報の技術でどのようなことができるだろうか。」と問いを投げかけている。また、AIを活用したシステム等のデザインが、私たちの生活に及ぼす影響についての資料を掲載するとともに、「他にもどのような技術に活用されているかな。」と、さらに生徒の思考を促す問いがある。次点となった「教図」においては、「人工知能を生み出すディープラーニング」についての資料が掲載されているが、資料の内容はAIの仕組みなど事実にとどまっている。デザインの革新が、私たちの生活に及ぼす影響について考えさせるという視点で比較した結果、「東書」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の視点⑨を御覧いただきたい。三次中学校では、人間の

多様性を尊重し、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるために、情報モラルに関する内容の事例や資料に掲載があるかについて調査した。地球規模の視野で他者と協働するためにはオンライン等情報技術を扱うため、情報モラルが必要である。「東書」では、学習内容と情報モラルを関連付けるために、情報モラルマークを設けている。次点となった「開隆堂」においては、情報モラルマークを設けていない。ここで各教科書における情報セキュリティの内容を見比べると、「東書」は情報モラルマークにより、「この情報セキュリティという内容は情報モラルと関連がある内容である」ということが明確化されるため、情報モラルに関する内容の掲載の仕方という視点で比較すると、「東書」が優れていると判断し、選定した。

「技術・家庭（家庭分野）」について説明する。

技術・家庭（家庭分野）は、三校とも「東書」を選定している。

観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。まず、広島中学校と三次中学校において、共通した調査項目で調査し、その上で評価に差がついた項目があったため、その項目について説明する。広島中学校の視点⑧を御覧いただきたい。広島中学校では、科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育てることを重視しているため、生活に必要な判断力を育てる内容の記載について調査した。また、三次中学校の視点⑧を御覧いただきたい。三次中学校では、知性、探究心、創造性を育むことを重視しており、とりわけ創造性を育むためには生活の中で生徒自身が判断して行動することが大切と考え、先ほどの広島中学校と同様、生活に必要な判断力を育てる内容の記載について調査した。具体的な調査内容としては、「衣食住の生活」、「消費生活・環境」の内容において、意思決定のプロセスを示す記載があるかどうかを調査した。「東書」では、各内容において、見開き2ページを使って、目的・課題をもち、情報の収集・方法の検討を行い、決定し、実行した後、評価・改善するといった意思決定のプロセスに沿った学習活動を掲載している。次点となった「開隆堂」においては、意思決定のプロセスを示す記載がないため、「東書」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫について、日本や世界の生活文化に関する学習の事例を調査項目とし、日本の伝統文化と世界の生活文化についての記載があるかどうかについて調査した。「東書」では、日本の伝統文化として和服の着装の仕方を資料として掲載するとともに、話し合ってみようなどの学習活動や、世界の民族衣装との比較などを発展的な学習内容として記載している。次点となった「開隆堂」においては、和服の文化、世界の生活文化といったそれぞれの記載はあるものの、学習活動の記載や比較するための表記はないため、「東書」が優れていると判断し、選定した。

「英語」について説明する。

広島中学校では「三省堂」、広島叡智学園中学校、三次中学校では「光村」を選定している。

観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑨を御覧いただきたい。広島中学校では、豊かな人間性や社会性を培い、我が国の文化とともに多文化を理解する態度を育てるための工夫について、日本の文化と他国の文化を理解し尊重しようとする態度を育てる題材の設定を調査項目とし、該当する題材の数を調査した。「三省堂」では、日本の文化とともに多文化を取り上げた題材が、全6者の平均以上設定されている。次点となった「教出」においては、該当する題材が

設定されているものの、全6者の平均未満であったため、「三省堂」が優れている。広島中学校において、「三省堂」と次点の「教出」は、総合評価が同じであるが、広島中学校が特に重視している学校の特色を生かす工夫において評価に差が見られたため、「三省堂」を選定した。次に、広島叡智学園中学校の視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、社会の持続的な平和と発展に向け、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するための工夫について、社会の持続的な平和と発展を希求する態度の育成につながる題材の設定を調査項目とし、平和に関する題材の設定状況を調査した。「光村」では、平和に関する題材が設定されており、さらに広島叡智学園中学校が目指す地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダーの育成につながる題材となっている。次点となった「教出」においては、平和に関する題材が設定されているものの、リーダーの育成につながるような題材となっていないため、「光村」が優れている。広島叡智学園中学校において、「光村」と次点の「教出」は、総合評価が同じであるが、広島叡智学園中学校が特に重視している学校の特色を生かす工夫において評価に差が見られたため、「光村」を選定した。最後に、三次中学校の視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、伝統を重んじるとともに人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせるための工夫について、伝統文化や人類の発展に貢献した取組等に関する題材設定を調査項目とし、その題材がどの程度設定されているかを調査した。「光村」では、伝統文化や人類の発展に貢献した取組等に関する題材の設定に加え、生徒自身に高い志を持たせる工夫が複数の単元等で見られる。次点となった「東書」においては、このような取組等に関する題材は設定されているものの、高い志を持たせる工夫が限られているため、「光村」が優れていると判断し、選定した。

「特別の教科 道徳」について説明する。

特別の教科 道徳は、三校とも「学研」を選定している。

観点6、学校の特色を生かす工夫について学校ごとに説明する。広島中学校の視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、高い目的意識をもって、自ら学ぼうとする姿勢・意欲を育てることを重視しており、生徒が学習したことを自らさらに広げたり深めたりすることができるよう多様な資料が掲載されていることが必要と考え、人間としての在り方、生き方について考えを深めることができるコラムや資料等がどの程度記載されているかを調査した。「学研」では、第3学年において教材の後に、「クローズアップ」として、直前の教材の関連資料や直前の教材と繋げて発展的に考える資料等が各学年20以上掲載されている。次点となった「東書」においては、このような資料が掲載されているものの、その数が各学年20未満であるため、「学研」が優れていると判断し、選定した。次に、広島叡智学園中学校の視点⑧を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、知識・技能のより深い理解を促すには、授業を通して学んだことを他の資料等の内容と結び付けることで、道徳的価値をより多面的・多角的に捉えることが必要であると考えた。そのため、先程の広島中学校と同様に、授業と関連した別資料であるコラムや資料等について調査し、先程同様、「学研」が優れていると判断し、選定した。最後に、三次中学校の視点⑧を御覧いただきたい。三次中学校では、知性、探究心、創造性を育てるための工夫について、今後の自己の生き方について主体的・発展的に考え、自分の将来の姿を創造していくことが必要であると考えた。そのためには、より発展的な資料が必要であり、三次中学校でも同様にコラムや資料を調査項目としており、調査結果は、先程と同様に、「学研」が優れていると判断し、選定した。

会	長	それではここで、説明があった4種目の選定状況について実際に教科書の見本を見ながら各学校の教育目標等を踏まえ、最も適した教科書が選定されているかについて、意見交流をしていただく時間を取る。その後、8種目の選定状況について、意見交流で出た御意見等をまとめて、グループごとに御発表いただく。 (委員による教科書閲覧、意見交流後) グループで出た御意見、御質問を順番に御発表いただきたい。
委	員	英語について、広島叡智学園中学校で選定された教科書について、平和やリーダーの育成といった学校が求めている特徴が選定結果に表れている。どの教科も人物がクローズアップされており、生徒にとってのロールモデルのような人物が示されている。昔から現代のつながり、他教科とのつながりが表れている教科書が多い。教科書の表紙がアニメのようになっているものが多く、表紙にも意味があると思う。例えば、道徳では、中学校第3学年の教科書になると、未来を感じさせるようなイラストになっており、各者、様々なメッセージが表れていると感じた。さらに、道徳では、人間としての、在り方生き方について考えるという点で、コラムや関連資料の多さを感じる。最後に、どの教科書も、ボリュームアップしていて、紙は薄くなっているが、内容は充実していると感じた。
委	員	道徳では、コラムが多く、20あるということは、内容項目が22あるもので、ほとんどの内容項目に対してコラムが用意されている。そこに着目しているのがよい。人物に注目して調べている教科がかなりあり、過去の人物だけでなく、現在も活躍している人物も扱っており、生徒にとって、身近に感じられるような人物を取り上げている教科書が見られ、そういった教科書が選定されている。選定されてはいるが、「教出」に中村哲氏が紹介されているページがあり、海外で活躍している人物が取り上げられているのがよい。英語の「教出」で、観点5までは、「教出」のAが多いが、観点6のところでは各学校の特徴に合わせて、「教出」ではない発行者が選定されていて、各学校の教育目標、育てたい生徒像に合わせて教科書が選ばれている。
委	員	各教科のつながりのところで、美術では、道徳とのつながりを示しており、カリキュラム・マネジメントを進めながら、授業をしていくというメッセージが教科書に込められている。英語では、各学校の特色を生かす工夫のところを評価することで、その学校で育てたい生徒に合わせた教科書を選定していることがよくわかった。また、情報量が多ければよいのではなく、その学校で育てたい生徒に合わせてどんな授業をしたいのか、それに合わせて教科書を選定しているということがよくわかった。
委	員	中学校の多感な時期に、様々な人の生き方を学んで考えられるようなコラムが充実している教科書を選定している。持続可能な社会、情報モラル、性の多様性など、これから生きていく社会に必要なことを評価基準に入れて、選定している。「家庭分野」の教科書を一冊持っているだけで一人暮らしができると思えるくらい、内容が充実していると感じた。デジタルコンテンツについて、内容については選定に関わっていないが、デジタルコンテンツが入っているかどうかについては、評価基準にあると聞いた。たくさんのデジタルコンテンツの中から、自分の使いたいものを選択する調べ学習にも使えるのではないかと感じた。
会	長	それでは、資料6 令和7年度に県立特別支援学校の中学部で使用する教科用図書の選定状況について、事務局から説明をお願いします。

特 別 支 援 教 育 課 担 当 者	資料 6 を用いて、令和 7 年度に県立特別支援学校の中学部で使用する教科用図書の選定状況について説明する。 今年度は、特別支援学校中学部で使用する中学校用教科用図書、及び学校教育法附則第 9 条第 1 項の規定による教科用図書、いわゆる絵本等の「一般図書」を採択する。 資料 6 の 1 ページを御覧いただきたい。 まず、県立特別支援学校の教科書採択のスケジュールについて説明する。 県立特別支援学校では、採択基本方針に基づき、5 月以降、各学校に教科書選定会議を設置するとともに、選定資料に基づき調査研究を行った。各校は、選定した教科用図書について、採択申請書、選定理由書とともに、県教育委員会に提出している。県教育委員会は、各校から提出のあった採択申請書及び選定理由書の点検を行うとともに、本日、第 3 回選定審議会でお諮りし、その後教育委員会会議で指揮を受けた後、8 月 31 日までに採択手続きを行う。 2 ページを御覧いただきたい。 「令和 6 年度県立特別支援学校における教科書選定会議の状況」について示している。各校では調査研究の観点に基づき、選定資料、教科書見本等を参考に調査研究を行うとともに、全ての学校で教科書選定会議を設置している。構成員は、教科用図書の採択に直接の利害関係を有するものでないこと、特定の教科書発行者と関係を有するものでないことを、校長が確認している。この会議は、各校を平均すると 2.2 回開催されている。 続いて、特別支援学校中学部で使用する「中学校用教科用図書」の選定状況について説明する。 3 ページを御覧いただきたい。 特別支援学校で使用する中学校用教科用図書の選定に当たっては、各校でこの調査研究の観点に基づき、選定資料や教科書見本等を参考に、調査研究を行った。 4 ページを御覧いただきたい。 「令和 7 年度に県立特別支援学校の中学部で使用する教科用図書の選定状況について」示している。 表は、横に障害種別の校名、縦に検定済教科書、著作教科書、絵本等の一般図書等、使用する教科書の種類を示している。 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の特別支援学校は、中学校の教育課程に準ずる教育を行っており、基本的には検定済教科書を使用する。障害種別ごとに詳細を説明するが、時間の都合上、特徴的な例を挙げて説明する。 6 ページを御覧いただきたい。 視覚障害特別支援学校である広島中央特別支援学校についてである。 視覚障害特別支援学校では、点字教科書を使用する生徒、拡大教科書を使用する生徒及び通常の教科書を工夫して使用する生徒が在籍するため、点字教科書が発行される教科については原則、点字教科書の原典となる発行者を選定する。 原典となる発行者は、写真や図が多すぎず構成がシンプルであることなど、点訳のしやすさや、弱視生徒が使用することを考慮して、文部科学省が決定する。先日、国語は「光村」、地歴公民は「教出」、数学は「数研」、理科は「東書」、英語は「教出」、道徳は「教出」に決定した旨の通知があり、広島中央特別支援学校では、それらの発行者の教科書を選定している。音楽、保健体育、技術・家庭については、点字出版社が一般図書として点字教科書を作成する。原典となる発行者は、音楽は「教芸」、
------------------------------------	---

会 長	保健体育は「学研」、技術・家庭は「開隆堂」に決定した旨の通知があったので、それらの発行者の教科書を選定している。書写、地図、美術については、点字教科書が作成されないため、各発行者の教科書を視覚障害の観点で調査研究し、選定している。 美術では、「日文」を選定している。 選定理由は、1つの題材が見開きで編集されていること、図版や写真が間隔をあけてレイアウトされていること、行間や文字色、背景とのコントラスト等が配慮され、弱視生徒にとって見やすく、学習しやすいものとなっていることが挙げられる。図版や写真が間隔をあけてレイアウトされていることにより、どれを鑑賞しているのか分かりやすくなる。 その他の種目においても、文字が大きく見やすい、色をはっきりしている、ページ構成がシンプルであること等、視覚障害のある生徒が扱いやすい工夫をした発行者を選定している。 次に、聴覚障害特別支援学校である広島南、尾道、呉南特別支援学校についてである。3校は合同で調査研究を行い、聴覚障害に適した教科書を選定している。広島南特別支援学校を例に説明する。 音楽（一般）では「教出」を選定している。 選定理由は、歌唱共通教材は、写真やイラストが多く、作詞者のメッセージが掲載されているため、曲のイメージがもちやすいこと、歌唱の動画は、音に合わせて歌詞の色が変化するため、聴覚障害のある生徒にとって分かりやすくなっていること、1年の「歌うための準備」として、母音の口形が掲載されており、口形を意識した発声方法が学習しやすいことが挙げられる。 その他の種目においても、視覚情報が豊富であることや、学習課題が端的に示されていることなど、聴覚障害のある生徒が学習を進めやすい工夫がある発行者を選定している。 次に、肢体不自由特別支援学校である広島、福山、西条特別支援学校の選定状況である。これら3校も、肢体不自由の観点から合同で調査研究を行い、共通の教科書を選定している。西条特別支援学校を例に説明する。 英語については「開隆堂」を選定している。 選定理由は、二次元コード等を活用した視覚教材が充実していること、肢体不自由等の障害の理解に関する内容も多く、身近なこと、自分自身のこととして、興味・関心を高め、障害についての理解を深めながら学習に取り組むことができることが挙げられる。 最後に、病弱特別支援学校である広島西特別支援学校の選定状況である。 技術・家庭の技術分野の教科書として「東書」を選定している。 選定理由は、動画やデジタル思考ツール、シミュレーションなど、生徒自身が興味・関心をもちやすく、必要に応じて使用しやすい工夫がなされていること、図解が多く、入院により生活経験が少ない生徒でも理解しやすいことが挙げられる。デジタル思考ツール、シミュレーションの充実により、病気等による書字の困難さを軽減できると考える。 続いて、資料7 令和7年度知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部で使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況について、事務局から説明をお願いします。
-----	--

特別支援 教育課担 当者	資料7を使って、令和7年度知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部で使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況について説明する。 資料7の1ページを御覧いただきたい。 学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書、これを一般図書とよんでおり、この一般図書の使用について説明する。 中ほどの表は、知的障害特別支援学校の小学部、中学部の各教科を示している。 この表に示している各教科は、特別支援学校学習指導要領に示されている知的障害特別支援学校における各教科を指しており、小・中学校の学習指導要領の各教科とは指導目標及び指導内容が異なる。小学部では、生活、国語、算数、音楽が、中学部では、国語、社会、数学、理科、音楽、職業・家庭については知的障害者用の著作教科書がある。 その下の段の教科については、著作教科書が発行されていない。そのため市販の絵本等の一般図書を教科用図書として使用することができる。また、障害の状態が重い児童生徒で、上段の著作教科書を使用することが適当でない場合にも、一般図書を使用することができる。 2ページは一般図書の調査研究について、教科書選定の観点及び調査研究の視点を示したものである。 絵本等の一般図書は、各教科の目標を達成するための主たる教材として作成されたものではない。また、県立の特別支援学校は、知的障害特別支援学校の他に、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の特別支援学校があるが、そこには、知的障害を併せ有する児童生徒も在籍している。 そのため、ここに示す教科書選定の観点・視点で、一般図書の調査研究を行い、児童生徒の障害の種類、程度、能力・特性及び発達段階に最もふさわしい内容の教科用図書を選定する必要がある。 続いて、各校の選定状況について説明する。 3ページに「令和7年度知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部で使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況」を示している。 文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書については、全ての特別支援学校の小学部、中学部において選定している。一般図書の選定状況については、小学部では202点、中学部では、181点の一般図書を選定している。各学校が選定した一般図書については、「令和7年度に県立特別支援学校で使用する一般図書」として表にまとめている。 続いて、資料15ページから、各特別支援学校から提出のあった教科用図書選定理由書抜粋を用いて、選定の詳細について具体的に説明する。 絵本等の一般図書は、各教科の指導を目的としてつくられているわけではないため、一般図書を選定する際には、学習指導要領段階等の欄に、当該図書が学習指導要領の内容のどこに該当する図書なのかが分かるように、内容項目の番号を示している。 知的障害特別支援学校の例として、庄原特別支援学校中学部単一障害第1学年の選定理由書抜粋を示している。 道徳の図書として、草思社の「みんなのためのルールブック あたりまえだけど、とても大切なこと」という一般図書を選定しており、対応する学習指導要領の段階等については、道徳の内容項目は「1 善悪の判断、
-----------------------------	---

	自律、自由と責任」「2 正直、誠実」「3 節度、節制」「6 親切、思いやり」「7 感謝」「8 礼儀」「11 規則の尊重」「12 公正、公平、社会正義」「15 よりよい学校生活、集団生活の充実」「18 生命の尊さ」「20 感動、畏敬の念」となる。 選定理由として、50個のルールが見開き2ページずつで紹介され、1個ずつのルールの理解を促しやすい構成になっていること、「なぜこれらのルールを守ることが大切なのか」を視点に生徒にとって分かりやすく、端的な言葉で解説されていることが挙げられる。知的障害のある生徒にとって、生活に結び付けて学習活動が展開できる内容となっている。 16ページに視覚障害特別支援学校である広島中央特別支援学校の視覚障害と知的障害を併せ有する児童が在籍する小学部重複障害の教育課程、第3学年の選定理由書抜粋を示している。道徳の教科書として、合同出版の「絵でわかるこどものせいかつずかん1 みのまわりのきほん」を選定している。対応する学習指導要領の段階等については、道徳の内容項目は、「3 節度、節制」「8 礼儀」「10 規則の尊重」としている。 選定理由として、生活習慣や礼儀作法などを身に付ける方法が具体的に分類されており、手順が分かりやすく描かれていること、大きく色彩豊かな絵や文字によって描かれており、弱視児にも見やすく親しみやすいことが挙げられる。背景が白地であることから、絵がはっきり見やすくなっており、視覚障害と聴覚障害を併せ有する児童が絵の内容を捉えやすくなっている。 17ページに聴覚障害特別支援学校である広島南特別支援学校の聴覚障害と知的障害を併せ有する児童が在籍する小学部重複障害、第3学年の選定理由書抜粋を示している。図画工作の教科書として、戸田デザインの「6つの色」を選定している。対応する学習指導要領段階等については、小学部の図画工作「A 表現」「B 鑑賞」としている。 選定理由として、蛇が色を食べるストーリーを通して、三原色を混ぜてできる色を知ることができること、自然の中の木や水や花の形を作ることが表現されており、混色までの過程が分かること、鮮明な色彩と扱いやすい装丁は、視覚的にも児童の興味を引き、学習しやすい教材となっていることが挙げられる。聴覚障害と知的障害を併せ有する児童が、視覚的に興味をもち、色について楽しく学習できる。 18ページに肢体不自由特別支援学校である西条特別支援学校中学部重複障害、第3学年の選定理由書抜粋を示している。道徳の教科書として童心社の「ピーマン村の絵本たち おおきくなるっていうことは」を選定している。学習指導要領段階等については、道徳の項目「3 節度、節制」「4 個性の伸長」「9 友情、信頼」としている。 選定理由として、繰り返しの展開によって、生徒の期待感を高めることができる絵本であること、肢体不自由のある生徒にとっても、成長するということは体だけでなく、心の成長も意味することを学び、自己を見つめて自己の成長・向上を図る学習が期待できることが挙げられる。 19ページに病弱特別支援学校である広島西特別支援学校の小学部重複障害、第2学年の選定理由書抜粋を示している。道徳の教科書として、福音館の「こどものとも絵本 はじめてのおつかい」を選定している。対応する学習指導要領段階等について、道徳の項目「5 希望と勇気、努力と強い意志」「6 親切、思いやり」「13 家族愛、家庭生活の充実」としている。 選定理由として、家や店の中の様子、主人公と主人公を見守る人々の表
--	--

		情や様子が臨場感あふれる描写で表現されており、入院生活で生活経験が限られる児童もお話の中に引き込まれ、家族や身近にいる人々の愛情や温かさ、家族の役に立とうとすること、責任をもってやり遂げることのすばらしさに気付くことができることが挙げられる。
会	長	それでは、ただ今の説明について、グループで意見交換を行っていただきたい。（委員による教科書閲覧、意見交流後）グループで出た御意見、御質問を順番に発表していただきたい。
委	員	美術の「日文」を選定している学校について、「日文」の教科書は、視覚的にわかりやすく、原寸大の絵があったり、クローズアップしてみることができるようにしてあったりするなど、工夫されており、視覚障害の児童生徒の実態に合わせた教科書を選定している。理科著作教科書について各時間の内容が、探究の過程に沿って、どの時間も同じパターンで作成されているので、分かりやすい。
委	員	県立中学校と子供の実態が異なるので、そこを考慮して、スモールステップや、分かりやすさといったところを基準に、実態に合わせた選定ができています。理科や社会の著作教科書が来年度から新たに発行される予定であり、小学校の学習内容がコンパクトにまとめられている。子供達の実態に合わせて使用できると考える。
委	員	広島中央特別支援学校の在籍生徒が0人なのに、選定されているのはなぜか担当者に質問したところ、0人であっても、当該校への転入などがあったときのために、選定しているとのことであった。一人の児童生徒だけでなく、様々な児童生徒に合わせて選定しているとのことであった。また、一般図書の中には、古いものもあり、現代の子供達に合うのかという意見もあったが、それでも選ばれているのは、世代を越えて共通して学ぶべきことがそれらの一般図書の中にもあるのだと感じた。
委	員	複数名の児童生徒が在籍する学校であっても、同じ教科書を選定する。授業の中で、個の実態に応じて、深め方、広げ方を工夫していると聞いた。障害種別に応じた選定について、例えば、視覚障害の児童生徒の場合は、イラストが多すぎると情報量が多すぎる。聴覚障害の児童生徒の場合は、イラストが多い方がよい。肢体不自由の児童生徒の場合は、英語の開隆堂であれば、肢体不自由の障害の理解に関わる内容を選定している。障害に応じた選定をしている。
会	長	先ほどの御意見の中にもあったが、在籍生徒が0人の学校でも、教科用図書を選定しているのはなぜか、事務局の説明を求める。
事	務	特別支援学校では、複数の教育課程を編成し、それぞれの教育課程に応じた教科用図書が給与できるように選定している。在籍がある場合は、児童生徒の実態に応じて、どの教育課程で学ぶことが適しているか判断し、それに応じて教科書を給与している。次年度に在籍がない場合でも、今後転入等があった際に、どの教育課程で学ぶにしても対応できるようにしている。
会	長	その他、御意見・御質問等はないか。 本会の議事全般に関わってでも構わない。
委	員	（なし。）

会 長	それでは、事務局から説明があった、各校の選定状況について、適切に処理されていると御了解いただいたものとする。 以上で議事を終了する。これより、進行を事務局にお返しする。
-----	--